

News Release

アクセンチュア、2002 会計年度 第 1 四半期も好業績

営業収入および営業利益が着実な伸び

【ニューヨーク発、2002 年 1 月 9 日】

アクセンチュア (NYSE: ACN)は本日、2001 年 11 月 30 日を期末とする 2002 会計年度 第 1 四半期の決算を発表しました。この決算は、同社が 12 月 20 日に行なった、「アナリスト予想を上回る」とする予測発表に沿った内容となりました。

第 1 四半期の売上収入（「純収入」）は約 29 億 9,000 万ドルと、創業以来の四半期最高収入を達成し、前年同期に比べて、米ドルベースおよび現地通貨ベースの両方で 6%増加しました。営業利益は 4 億 1,400 万ドルに達し、同四半期の純収入の 14%を占めました。

*現地通貨ベース：各国のそれぞれの通貨ベースにおける加重平均成長率を三つの地域で集計、更にグローバルで集計したもの。

少数株主持分損益前利益（投資評価損および関連する税効果を除く）は、2 億 5,800 万ドルでした。同ベースによる 1 株当たり利益（希薄化後）は 0.25 ドルでした。少数株主持分損益前利益（投資評価損および関連する税効果を含む）は 2 億ドル、同ベースによる 1 株当たり利益（希薄化後）は 0.20 ドルでした。

「経済状況が不安定であった第 1 四半期にとりわけ好業績を示せたのは、顧客企業のニーズに対して革新的なソリューションを提供出来たことによるものです。当社がビジネス・トランスフォーメーション（事業変革）へ継続的に注力した結果、同四半期内にアウトソーシング事業における収入を 32%伸ばすことができました。」とアクセンチュアの会長兼 CEO であるジョー・W・フォーハンドは述べています。

フォーハンドはまた、「2002 会計年度当初 4 カ月における約 56 億ドルの新規売上計上により、当社の成長戦略は軌道に乗り、株主に対する企業価値を高めることが可能になりました。」と述べています。

アクセンチュアの第 1 四半期における好業績に寄与したのは、五つの産業部門のうち 3 部門における力強い成長でした。アクセンチュアの官公庁部門の純収入は、前年同期比で 58%増の 3 億 3,700 万ドルに達しました。製造・流通業部門と素材・エネルギー部門は、それぞれ同 22%増の 6 億 5,000 万ドルと、同 17%増の 5 億 4,100 万ドルを記録しました。

通信・ハイテク業部門と金融サービス業部門が、それぞれ前年同期比 14%減の 7 億 4,300 万ドルと同 6%減の 7 億 1,700 万ドルと落ち込んだのは、金融サービス、通信及びテクノロジーの各産業が同期間中に厳しい状況に直面した為です。

第 1 四半期の収入を地域別にみると、欧州／中東／アフリカ／インド（EMEA）地域では米ドルベースで前年同期比 26%増の 13 億 3,000 万ドルとなり、同四半期全体の伸びに大きく寄与しました。アジア太平洋地域では米ドルベースで 2 億 2,100 万ドルと同 2%減少しましたが、現地通貨ベースでは同 6%増加しました。しかしながら、アメリカ大陸では 14 億 4,000 万ドルと、米ドルベースで同 7%、現地通貨ベースで同 6%減少しました。

12 月 20 日の予測時点で発表致しましたが、第 1 四半期の投資有価証券の損失には、ベンチャー事業及び投資ポートフォリオに関連する 9,000 万ドルの費用計上が含まれています。先に発表したこのポートフォリオの再構築計画に関して、アクセントゥアは取締役会に可能性のある代案を考慮対象として提出する意向であり、2002 年 2 月 28 日を期末とする 2002 会計年度第 2 四半期末までに代案を最終決定する予定です。

今後の見通しについて、アクセントゥアは、2002 会計年度第 2 四半期に対するアナリストのコンセンサス予想が達成可能であり、同会計年度の残りの期間に対する同予想が妥当であると判断しました。

アクセントゥアは 1 月 9 日午前 8 時（米国東部時間）にカンファレンスコールを開催し、2002 年第 1 四半期の業績に関するご説明を致します。参加ご希望の方はカンファレンスコールの開始約 15 分前までに +1(800) 230-1074 [+ 1 (612) 288-0337 米国、プエルトリコ、カナダ外]まで電話をお掛けください。また、カンファレンスコールはアクセントゥアのウェブサイトで www.accenture.com/investor の Investor Relations（インベスター・リレーションズ）のセクションにアクセスすると、ライブでご覧になれます。

カンファレンスコールのリプレイは、www.accenture.com/investor、または 1 月 9 日水曜日午後 1 時 15 分（米国東部時間）から 1 月 23 日水曜日午後 11 時 59 分まで +1(800) 475-6701 [米国、プエルトリコ、カナダ外からの場合、+1(320) 365-3844]に電話を掛け、パスワード 618946 を押してください。

###

本プレスリリースは将来の予測に関する記載が含まれており、その正確性についてはリスクと不確実性が伴うことを前提としております。実際の結果が記載もしくは予測から著しく異なる原因となる要因には、一般的な経済状況および米国証券取引委員会に提出済みの登録書類であるフォーム 10-K 上の弊社最新アニュアルレポート中の「将来の予測に関する記載及び当社事業に影響を与えうる一定要因」の項に記載されています。

**アクセント
連結損益計算書
結合調整後損益計算書**

2000年及び2001年11月30日を以って終了する3カ月間

(未監査)

(単位: 千USドル、1株当たり利益を除く)

	2001年 連結損益計算書		2000年 結合調整後 損益計算書(1)	
		純収入 構成比		純収入 構成比
営業収入:				
売上収入(純収入)	\$2,988,630	100%	\$2,831,298	100%
その他収入	<u>419,880</u>	14%	<u>406,994</u>	14%
営業収入	3,408,510	114%	3,238,292	114%
営業費用:				
売上原価:				
外注費前売上原価	1,806,181	60%	1,710,590	61%
外注費	<u>419,880</u>	14%	<u>406,994</u>	14%
売上原価	2,226,061	74%	2,117,584	75%
販売費	360,235	12%	326,818	11%
一般管理費	407,957	14%	405,477	14%
営業費用計	<u>2,994,253</u>	<u>100%</u>	<u>2,849,879</u>	<u>100%</u>
営業利益	414,257	14%	388,413	14%
投資有価証券利益(損失)、純額	(94,737)	(3%)	219,104	8%
受取利息	14,785	0%	22,549	1%
支払利息	(9,770)	0%	(9,430)	(1%)
雑収入(費用)	(7,933)	0%	6,675	0%
持分法による投資利益(損失)	<u>6,201</u>	<u>0%</u>	<u>(20,441)</u>	<u>(1%)</u>
税引前利益	322,803	11%	606,870	21%
税金費用	<u>122,665</u>	<u>4%</u>	<u>244,393</u>	<u>8%</u>
少数株主持分損益前利益(2)	200,138	7%	362,477	13%
少数株主持分	<u>(118,462)</u>	<u>(4%)</u>	<u>(214,000)</u>	<u>(8%)</u>
当期純利益	<u>\$81,676</u>	<u>3%</u>	<u>\$148,477</u>	<u>5%</u>
1株当たり利益				
- 基本的		<u>\$0.20</u>		<u>\$0.36</u>
- 希薄化後		<u>\$0.20</u>		<u>\$0.36</u>

投資有価証券利益(損失)を除く調整後、純額

少数株主持分損益前利益、公表額	\$200,138	\$362,477
調整: 投資有価証券利益(損失)、税金による影響の控除後	<u>(68,037)</u>	<u>130,868</u>
少数株主持分調整前利益	<u>\$258,175</u>	<u>\$231,609</u>
調整後1株当たり利益		
基本的	<u>\$0.26</u>	<u>\$0.23</u>
希薄化後	<u>\$0.25</u>	<u>\$0.23</u>
加重平均株数:		
基本的	410,488,771	412,705,954
希薄化後	1,014,448,500	1,008,163,290

連結及び結合調整後損益計算書の注記

(1) 2000年調整後決算は、(1) 企業構造の移行と新規株式公開の実施による取引及び関連取引に直接起因する一時的イベントによる影響を除外し、(2) 企業構造の変更が1999年9月1日に発生したとして経営成績を表示した調整を反映しています。除外した一時項目には、企業構造の移行に関連する再編費用の500万ドル、社名変更のためのブランド変更費用の2,500万ドル、そしてSFAS133の採用による1億8,800万ドルの利益が算入されております。企業構造の移行を反映させた調整は、営業費用に相当するパートナー報酬の4億8,100万ドル及びパートナーへの年金給付支払に関連する支払利息である500万ドルが算入されております。

税金費用には調整後の税効果を算入し、企業ベースでの経営成績を表示するために見積法人税費用を反映させて調整しました。少数株主持分損益は、少数株主が2000年11月30日を以って終了する3カ月に存在したとして調整されています。少数株主持分損益とクラスA株式の1株当たり利益は、2001年8月31日現在の株式及び株式相当証券の発行済株式数を通期の株式数とする想定に基づいています。

(2) 少数株主持分損益前利益は、アクセンチュアが子会社のアクセンチュア SCA の連結利益を表示したもので、アクセンチュアによるアクセンチュア SCA への出資比率を考慮しておりません。少数株主持分損失は、アクセンチュア SCA の直接株主であるパートナーの持分利益を除いております。アクセンチュアの当期純利益は、アクセンチュアの株主に帰属する利益を表示しております。

**アクセンチュア
連結貸借対照表**

2001年8月31日及び11月30日現在
(未監査)
(単位:千USドル)

	2001年8月31日	2001年11月30日 (未監査)
資産		
流動資産:		
現金および現金等価物	\$1,880,083	\$1,129,517
売掛金、純額	1,498,812	1,534,348
未請求サービス	731,802	930,389
その他の流動資産	468,940	479,289
流動資産計	<u>4,579,637</u>	<u>4,073,543</u>
固定資産:		
投資有価証券	324,139	259,906
有形固定資産、純額	822,318	787,121
その他の固定資産	335,262	302,101
固定資産計	<u>1,481,719</u>	<u>1,349,128</u>
資産計	<u>\$6,061,356</u>	<u>\$5,422,671</u>
負債および資本		
流動負債:		
短期借入金	\$190,669	\$218,442
買掛金	371,794	360,724
繰延収益	810,043	719,063
未払給与および給付額	1,050,385	1,107,426
その他の未払費用	1,755,929	955,142
流動負債計	<u>4,178,820</u>	<u>3,360,797</u>
固定負債:		
長期借入金	1,090	4,362
その他の固定負債	1,191,332	1,178,372
固定負債計	<u>1,192,422</u>	<u>1,182,734</u>
少数株主持分	<u>407,926</u>	<u>526,388</u>
資本:		
株主資本	282,188	352,752
資本計	<u>282,188</u>	<u>352,752</u>
負債および資本計	<u>\$6,061,356</u>	<u>\$5,422,671</u>

アクセンチュア
営業収入内訳

2000年及び2001年11月30日を以って終了する3カ月間
(未監査)

(単位: 千USドル)

	2001年	2000年	増加率/ (減少率) 米ドル	増加率/ (減少率) 現地通貨	2001年純収 入計の構成 比
産業部門					
通信・ハイテク	\$743,215	\$864,870	(14%)		25%
金融サービス	716,707	758,563	(6%)		24%
官公庁	336,519	213,103	58%		11%
製造・流通	649,829	532,404	22%		22%
素材・エネルギー	540,908	460,750	17%		18%
その他	<u>1,452</u>	<u>1,608</u>	(10%)		0%
純収入計	2,988,630	2,831,298	6%		<u>100%</u>
その他収入	<u>419,880</u>	<u>406,994</u>	3%		
営業収入計	<u>\$3,408,510</u>	<u>\$3,238,292</u>	5%		
地域					
アメリカ大陸	\$1,441,338	\$1,551,091	(7%)	(6%)	48%
EMEA	1,326,446	1,055,934	26%	23%	44%
アジア太平洋	<u>220,846</u>	<u>224,273</u>	(2%)	6%	<u>8%</u>
純収入計	2,988,630	2,831,298	6%	6%	<u>100%</u>
その他収入	<u>419,880</u>	<u>406,994</u>	3%		
営業収入計	<u>\$3,408,510</u>	<u>\$3,238,292</u>	5%		

アクセントチュアについて

アクセントチュアは、経営コンサルティングとテクノロジー・サービスにおける世界的な先進企業です。アライアンスやベンチャーその他の手法を通じ、コンサルティングやアウトソーシングに関するノウハウを蓄積、独自のビジネスアプローチとそのネットワークにより、あらゆる業界の顧客企業が自身のビジョンを迅速に実現できるよう、革新的なアイデアと技術を提供します。アクセントチュアは世界 47 カ国に 7 万 5 千人以上の社員を擁し、2001 年 8 月 31 日を期末とする 2001 会計年度の売上高は 114 億 4 千万ドルでした（2001 年 7 月 19 日 NYSE 上場、略号：ACN）。

アクセントチュアの詳細は

www.accenture.com を、

アクセントチュア株式会社の詳細は

www.accenture.com/jp をご覧ください。